

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公開番号】特開 2020-68856 (P2020-68856A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-202645 (P2018-202645)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 5

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 7 日 (2020.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に遊技媒体を発射することにより遊技が可能な遊技機であって、
 前記遊技領域は、
遊技媒体が進入可能な進入領域と、
遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態と進入し易い第 2 状態とに変化可能な非電動可変手段と、を有し、
 前記非電動可変手段は、
前記進入領域に進入した遊技媒体が作動部材に作用して該作動部材が作動することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し、
外力により前記作動部材が作動することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化することを阻止する阻止手段と、
遊技媒体が進入可能な特定進入領域を開閉する可動部材と、を備え、
前記第 1 状態において前記作動部材が作動することにより前記可動部材が前記特定進入領域を開放することで前記第 2 状態に変化し、
前記阻止手段は、遊技媒体が前記作動部材に作用することによらず外力により前記作動部材が作動することを阻止する
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段 A の遊技機は、
遊技領域に遊技媒体を発射することにより遊技が可能な遊技機であって、
前記遊技領域は、
遊技媒体が進入可能な進入領域と、
遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態と進入し易い第 2 状態とに変化可能な

非電動可変手段と、を有し、

前記非電動可変手段は、

前記進入領域に進入した遊技媒体が作動部材に作用して該作動部材が作動することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し、

外力により前記作動部材が作動することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化することを阻止する阻止手段と、

遊技媒体が進入可能な特定進入領域を開閉する可動部材と、を備え、

前記第 1 状態において前記作動部材が作動することにより前記可動部材が前記特定進入領域を開放することで前記第 2 状態に変化し、

前記阻止手段は、遊技媒体が前記作動部材に作用することによらず外力により前記作動部材が作動することを阻止する

ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

遊技領域に遊技媒体（例えば、遊技球 P 等）を発射することにより遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

前記遊技領域は、

遊技媒体が進入可能な進入領域 {例えば、普電入賞口（第 4 カウントスイッチ 2 3 D）、第 3 分岐路 7 1 1 f、第 1 作動口（第 5 カウントスイッチ 2 3 E）、第 2 作動口（第 6 カウントスイッチ 2 3 F）等} と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態（例えば、閉鎖状態（図 1 1（A）参照））と進入し易い第 2 状態（例えば、開放状態（図 1 1（B）参照））とに変化可能な非電動可変手段（例えば、非電動可変入賞球装置 6 0 0 A、6 0 0 B 等）と、

を有し、

前記非電動可変手段は、

前記進入領域に進入した遊技媒体が作動部材（例えば、第 1 リンク部材 7 2 1～第 3 リンク部材 7 2 3（第 1 リンク部材 7 3 1～第 3 リンク部材 7 3 3）、作動部材 6 0 4、回転軸部材 6 0 3 等）に作用して該作動部材が作動することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し（例えば、図 7（B）、図 1 1（B）参照）、

外力（例えば、パチンコ遊技機 1 を製造メーカーから遊技場等に輸送する際など搬送する際に生じる振動や、パチンコ遊技機 1 による遊技に伴い発生する振動や、パチンコ遊技機 1 に外力が加えられることにより発生する振動等）により前記作動部材が作動することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化することを阻止する阻止手段（例えば、第 2 リンク部材 7 2 2 の荷重 G 3、規制部材 6 0 5、トーションバネ 6 4 7、トーションバネ 6 3 7 / 圧縮ばね等）を備える

ことを特徴としている。

この特徴によれば、作動部材により非電動可変手段の配置自由度が向上するとともに、意図せずに非電動可変手段が第 2 状態に変化することを抑制できる。